

彦名通信

No. 149
平成19年6月



化学の授業 (1C)



新入生オリエンテーション



実験実習 (1M)



入学式

目次

新年度特集

校長より	2
入学式の様子	2
副校長、各主事より	3
新任教職員紹介	4

クラス便り

1年機械工学科	5
1年電気情報工学科	6
1年電子制御工学科	7
1年物質工学科	8
1年建築学科	9

クラブ便り

クラブ紹介	10
活動報告	10
松江高専定期戦	11

学生会便り

学生会紹介	11
演劇鑑賞会	11

地域交流

地域共同テクノセンターの紹介	12
本年度の地域貢献活動予定	12

研究活動

研究紹介	13
学会表彰	13

トピックス

トピックス	14、15
行事予定	15

専攻科便り

専攻科交流会	16
編集後記	16

校長 水島 和夫



本科学学生について、①学び習得した知識を適切に表現し活用できる、②実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し報告できる、③関心のある分野について継続的に学習してゆける、④地球や地域の環境保全を念頭に置きながら社会生活を送ることができる、⑤日本語及び英語の資料等

以上の達成目標は、学生便覧へ記載するとともに、昨年から本校各所に設置した電子掲示板でも学習・教育目標と共に流しています。基本的に、卒業・修了の認定はこれを考慮しながら行うことになりますので、本学学生はもとより保護者その他関係の皆様には是非了知していただき、今後この目標に沿った教育・指導がしっかりとなされているかお見守りいただきたいと思います。

入学式の様子

4月4日（水）、本校第1体育館にて入学式が挙行され、本科入学生217名、編入学生4名、専攻科入学生35名、留学生2名の計258名が、米子高専の新しい仲間として加わりました。



副校長より

物質工学科 小田 耕平

総務では、教育研究活動に付随する様々な活動（広報活動、情報セキュリティ、FD活動、自己点検及び評価改善など）の取り纏めを行っています。そこで、今年度総務として特に重点を置いている認証評価について紹介します。

大学、短期大学及び高等専門学校は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、7年以内ごとに、文部科学大臣が認証する評価機関（認証評価機関）の実施する評価を受けることが義務付けられています。本校は、今年度大学評価・学位授与機構から機関別認証評価を受審することになっています。この認証評価は、本科及び専攻科の教育内容や学習環境など基準に沿って自己点検し作成した自己評価書に基づき大学評価・学位授与機構が評価を行うものです。この自己評価書作成に当たっては、基準毎に評価分析を行うために様々な資料が必要で、現在、学校を挙げて取り組んでいます。



総務主事補：
青木(C)、山本英(D)

教務主事より

電子制御工学科 香川 律

新学期がスタートし早3ヶ月が経過しました。1年生諸君は、入学式、大山でのオリエンテーション、そして初めての前期中間試験も経験し、初期の戸惑いは、希望や自信に変わったでしょうか？“教育の再生”が声高に叫ばれるなか、今年度本校は、国が定める第三者評価を受審し教育水準の点検を行います。最近の調査では、本校入学志願者の対中学卒業者比は7.2%、全国高専でトップです。他高専に比べ格段に多くの地元中学生が受検し、その中から選ばれた学生諸君が就学上の達成感を味わえてこそ真に“地域に根差した高専”と、改めて責任の重さを感じています。新たな試みとしてT A（専攻科生）による低学年向け学習支援も始めました。反面、高専生として求められる姿もあります。高学年に導入した“学修単位”科目は、教室での対面授業時間を少なくできる一方、15時間から30時間の自学・自習が必要です。アルバイトなどに走らず、自らを律する確かな心があって初めて活きる試みです。保護者の皆様のご理解やご協力を、重ねてお願いいたします。



教務主事補：
竹内(G)、西垣(G)、
松本至(M)、浅倉(E)、
小川和(C)

学生主事より

一般科目 山藤 良治

米子高専の伝統のひとつに「自由な校風」があります。生活指導においても、あまり細かいところまで規制せず、ルールや禁止事項はできるだけ少なくし、学生の自主的な判断に委ねることを方針としてきました。学生の良識と自律心に対する教職員の期待と信頼がなければ、成り立たない指導方針です。

最近、こうした期待と信頼を裏切るケースが増えてきているように思えます。携帯電話の授業中使用、教室での充電。空き缶、菓子袋のポイ捨て。噛んだ後のガムが床や便器・洗面台に捨てられていることもあります。携帯電話の持込禁止、売店での菓子類の販売中止という方法ではなく、本校に相応しいやり方で事態が改善されることを望んでいます。

自動車やオートバイの通学についても、危険だから即禁止ではなく、一定の条件があれば、届け出た学生は許可するというのが、基本方針です。無許可での通学は、万一の事故の場合、全員加入の災害共済金給付が難しくなることから、届け出は必要な手続きです。

例示が卑近に過ぎたかもしれませんが、公共マナー等の指導につきまして改めて保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



学生主事補：
河野(D)、蔵岡(G)、
高増(A)、権田英(E)、
大庭(G)、越智(G)、
松本幸(A)、梗間(C)、
権田岳(M)

寮務主事より

物質工学科 竹中 敦司

学生寮は遠方からの通学困難の学生が利用する生活の支援施設であるとともに教育的側面も持っています。19年度当初の寮生数は281名で全学生の3割弱が寮で生活しています。今年度の寮運営には教員11名、事務職員2名、寮母3名、総計16名の教職員が当たっており、寮生会の役員諸君も寮生の生活を支えてくれています。

ところで、毎年寮では年度の方針を掲げることであります。今年度は昨年度から継続した「穏やかな寮」と新たに加えた「勉強ができる寮」を目指すことです。穏やかであることは擬似家庭とみなせる学生寮にとって大切なことです。一方、昨年度は1年生の寮生の中にも成績不振の学生さん達が少なからず見られました。そこで、今年は「勉強ができる寮」を目指すための方策を考え実践しています。その他、1年生の資質の変化に応じた寮生活への導入の改善、ゴミ問題を中心とする生活環境の改善など解決すべき課題は多々ありますが、スタッフ全員で取り組んでいます。



寮務主事補：
能登路(D)、岡(G)、
宮田(E)、早水(M)、
北林(G)、加藤(G)、
黒川(G)、田口(A)、
里村(C)、井上(D)

新任教職員紹介



**機械工学科
助教 権田 岳**

この度、機械工学科の教員として赴任して参りました。私は本校のOBで機械工学科25期生になります。本校卒業後、豊橋技術科学大学に編入学し、同大学大学院を卒業した後に民間企業での勤務を経て、この4月から着任しました。未熟者ではありますが、教育・研究に全力を注ぐ所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



**電気情報工学科
助教 奥雲 正樹**

この度電気情報工学科の助教として新しく採用されました。よろしくお願いいたします。出身は京都府で、高知、鳥取市を経て米子高専に参りました。まだまだ学生の皆さんと年代的に近いと思っております。勉強、学生生活など何でも気軽に話せるように、また学生に近い視点から適切にアドバイス等できるように努力していきますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



**事務部長
神原 敬三**

この度、米子高専でお世話になることになりました。前任は広島大学病院の総務課長でした。高専の勤務は、以前に石川高専の会計課長の経験があり二度目ではありますが、法人化前であり法人化された高専機構になってからは経験がありませんが、状況の変化に迅速に対応すべく誠心誠意努力する所存ですのでどうぞよろしくお願いいたします。



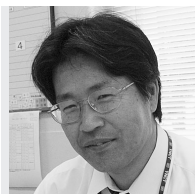
**電子制御工学科
助教 井上 学**

平成12年に本校の電子制御工学科を卒業し、九州工業大学・大学院を経て、7年ぶりに教員として戻って参りました。本校を卒業する際、「米子高専に入学して良かった」と心から思いました。学生の皆さんが同じように卒業できるよう、尽力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



**物質工学科
助教 榎間 由幸**

はじめまして。大阪での大学院生活を終え、この度物質工学科に赴任して参りました。初めての土地で不安もありますが、学生のくったくのない笑顔に勇気づけられます。研究・教育活動そして校務に頑張っていこうと思ひますのでよろしくお願いいたします。



**総務課長補佐
(財務担当)
田中 英行**

鳥取大学からこちらに転任しました財務担当の田中英行と申します。高専事務につきましては初めての経験であり、多少のときまどいを感じています。高専で最初に感じたことは学生さんを身近に感じたことです。校内、廊下どこでも学生さんから挨拶されます。恵まれた校風の中で、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



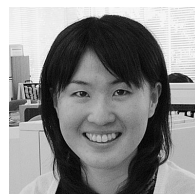
**学生課学術情報係
足立 美和**

鳥取大学医学図書館より転任して参りました。職場環境が変わり、戸惑う事も多いですが、早く充実した仕事ができるよう毎日を大切にしていきたいと思ひています。そして、なにより皆様の読書生活のお手伝いと学生達の手助けが出来るよう自分なりにやっていきたいと思ひています。どうぞよろしくお願いいたします。



**総務課契約係
郷田 大地**

今年度より事務職員として勤務することになりました郷田です。米子は海の幸も美味しく、日本海、大山と自然も多くウィンタースポーツも盛んで素晴らしい環境だと思います。出身は岡山県の倉敷市ですが、近年まで東京で芸能活動等をしていました。初めての事務仕事で戸惑うこともたくさんあると思ひますが、早く環境になれ、一人前の職員になるよう明るく元気に頑張りますので、よろしくお願いいたします。



**総務課総務係
齋尾 佳美**

はじめまして、この4月から総務課で勤務することになりました齋尾と申します。今は初めてのことばかりで戸惑うことも多く、毎日あっという間に過ぎていきます。早くこの環境に慣れ、皆さんの役に立てるように頑張りたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。



**総務課長補佐
(総務担当)
田内 和夫**

広島大学から復帰いたしました。「専攻科棟」が竣工し、実習工場が「ものづくりセンター」としてリニューアルし、「駐車場」が整備され、「電光掲示板」が設置されるなど、2年ぶりではありますが米子高専を新鮮に感じております。大学での経験の一つでも二つでも活かせるよう私自身もリニューアルし、微力ではありますが学校発展のため努力したいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



**学生課業務係
森澤久美子**

松江工業高等専門学校より、4月1日付けで転任してまいりました。寮務係での勤務は、初めてで戸惑うことばかりです。早く仕事になれて、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。



**総務課
築谷 英行**

この4月より新規採用された用務員です。前職の造園業での知識や経験を活かし、『少しでも当校の手助けが出来れば…』と考えております。また、活気あふれる学生達とふれあう中、『忘れかけた青春(?)をもう一度』と期待しつつ、はりきって頑張りますので、ヨロシク！

1 年 機 械 工 学 科

クラスデータ

学生数 48名 (男47、女1)

寮生数 15名

(鳥取西部1、鳥取中部8、鳥取東部1、岡山5)



高専生活を送り始めて

坂 口 裕 樹

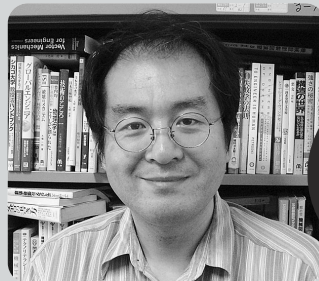
米子高専に入学してから数ヶ月が経ちました。だいぶ学校にも慣れました、と言っても、一週間単位で同じ生活を繰り返しているような感覚です。授業は坦々と進み、あっという間に一日が終わってしまいます。正直、飽きを感じる事もありますが、その反面、良い点もたくさんあります。一番高専生活で良いと思うのは、自由な校風です。校則も少なくて過ごしやすいです。また、クラスの雰囲気も賑やかで楽しいです。部活でも、先輩は優しく楽しいです。

これから先5年間で勉強はもちろん、部活などいろいろな事に取り組んで、それを楽しみ、様々な事を身に付け、有意義な高専生活を送りたいです。

初 心

石 本 佳 和

米子高専に入学すると高校生とは違い、生徒という呼び方ではなく学生と呼ばれます。普通は大学生になる18歳の時、大人扱いと呼ばれるのですが、高専では初めからそのように呼ばれます。これは高専生はもう大人だと実感させるためでしょう。ですが、僕自身はまだ微妙な気持ちです。クラスはみんなとても仲が良く、とっても良い雰囲気です。これなら5年間心配なく楽しく飽きる事がなく学校生活を送ることができると思います。高専での抱負は、勉強は当たり前ですが、部活動に一生懸命取り組み、毎日休まないようにして、自分自身鍛錬していく所存です。また、高専5年間を通じて、心分け隔てなく皆さんと一緒に歩んで行きたいと思います。そして、初心を忘れないという言葉に心を留め生活を送りたいと思います。



機械工学科
山口 顕司
准教授

■担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

活発で、良い雰囲気のクラスだと思います。授業を担当していただいている先生からは「機械工学科らしいクラスだ」といった感想もいただいています。

どんなクラスになってもらいたいですか。

皆が助け合い、時には競争しながら勉強や特別活動などに取り組めるようなクラスにしていきたいと思います。

最後にクラスの学生にメッセージを。

皆さんが選んだ機械工学という道は、新しい機械を創り出すことで社会を豊かにし、たくさんの人を幸せにすることができる大きな可能性を秘めています。長い5年間のなかではいろいろなことがあると思いますが、自分自身の目標や将来像をしっかり持ち、つらいときや弱くなったときはその目標を思い出しましょう。また、クラスの仲間同士支えあい、お互いに高めあっていきましょう。5年後に皆さんがどのような機械技術者の卵に育つか楽しみにしています。



1 年 電 気 情 報 工 学 科

クラスデータ

学生数 45名 (男43、女2)

寮生数 9名

(鳥取中部3、鳥取東部3、岡山1、広島1、兵庫1)



雛鳥のように

石 本 隆 馬

米子工業高等専門学校に入学したばかりの僕はとても不安だったのを覚えています。

自分の周りには知った顔がないという不安。そして、一番不安だったのが、自分のこれからが見えなかったことでした。しかし、そんな不安は長く続かなかったです。入学式の直後にあった、新入生オリエンテーション、約一ヶ月あまりの学校生活が、僕の思いを前向きにさせてくれました。少し騒がしいクラス、頼もしい先輩たち、授業を教えてもらい、勉強面での相談を引き受けてくださる先生方。これからの学校生活に期待して、今日も学校へと行きます。

高専に入学して

井 上 慎 也

入学してから約一ヶ月がたって、だいぶ学校にも慣れました。最初は友達も少なかったのですが、最近はいろんな人と話すようになりました。そして、授業の方では進むのが速くて大変ですが、取り残されないようにがんばりたいと思います。学校生活で一番辛いのは朝が早く、学校までが遠いことです。朝7時の電車ではとても眠たいですが、毎日がんばって学校に通いたいです。



電気情報工学科
松本 正己
准教授

■担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

まだまだ、人間関係構築中。これから艱難辛苦を乗り越えることで特徴が形作られるでしょう。

どんなクラスになってもらいたいですか。

クラスの人を互いに信頼できるような雰囲気をつくりあげて欲しいと思います。

最後にクラスの学生にメッセージを。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。5年間で、自分に出来ることをたくさん増やしていってください。「出来ない」ことに鈍感にならないように。



1 年 電子制御工学科

クラスデータ

学生数 45名 (男43、女2)

寮生数 13名

(鳥取中部3、鳥取東部7、岡山1、兵庫1、青森1)



学級委員に選出されて

田岡大輔

米子高専に入学してから1ヶ月以上過ぎました。入学式の翌日から行われた、大山でのオリエンテーションで学級委員に選ばれました。学級委員になったばかりの時は、クラスの皆をうまくまとめる事が出来るのか不安を抱えていました。その不安が的中し、授業が行われる教室場所を間違えてクラスの皆に迷惑をかけ、最悪なミスをしてばかりでした。しかし、そんな時でもクラスの友達は、「次から気をつければいい」などと言ってくれ、次からは頑張ろうという気持ちになることができました。今では、最初抱えていた不安は無くなっています。全てクラスの友達のおかげだと思います。これから先5年間もの間一緒に勉強していくこのクラスの雰囲気が良くなる様に、自分なりに一生懸命努力していきたい。

米子高専に入学して

福田克英

米子高専に入学してからの率直な私の感想は、勉強や寮生活がきついという事ばかりでした。中学校に比べて、教科数、授業時間数が多くなり入学間もない頃はどのように勉強していいか分かりませんでした。あっという間に1ヶ月が経ちましたが、まだ寮生活や高専の勉強になれてはいません。しかし、私は高専に入学する時に掲げた目標があります。何事にも一生懸命取り組むという目標です。まだまだ分からない事が沢山ありますがこの目標を常に心がけて、今やるべき事に一心不乱に取り組んで行きたいと思います。



電子制御工学科
村側 博康
講師

■担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

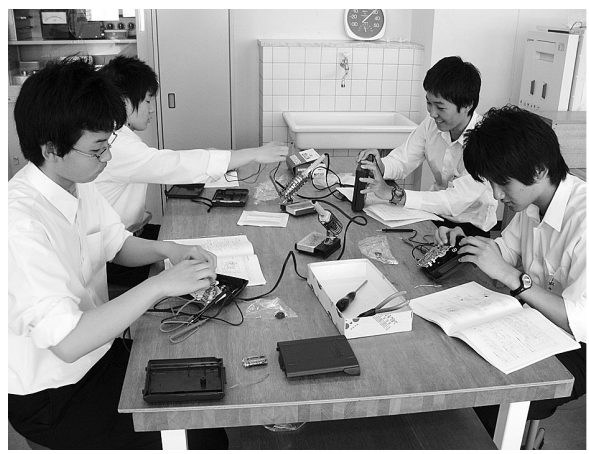
まだ高専生活に不安や迷いを持っている学生も見られるが、落ち着いた静かなクラスです。

どんなクラスになってもらいたいですか。

学級委員を中心にまとまりある明るいクラスになってもらいたい。

最後にクラスの学生にメッセージを。

自分にあった目標を定め、将来の夢に向かって努力し、充実した1年間を送ってくれることを願っています。



1 年 物 質 工 学 科

クラスデータ

学生数 45名 (男27、女18)

寮生数 9名

(鳥取東部4、鳥取中部1、兵庫3、島根1)



CHEMISTRY LOVE♡

安部 真利子

希望と不安を抱いて臨んだ入学式から、早二ヶ月。私達1Cのメンバーは、日々の課題や小テストの嵐、さらにいわゆる五月病に翻弄されながらも、毎日頑張っています。

1Cの印象を先生方に何うと、「雰囲気の良い楽しいクラス」と言って頂くことが多いのですが、中でも、担任、平澤先生の国語の授業はとても盛り上がります。先生と学生との掛け合いの楽しさは、他の追従を許さないでしょう。

1Cの結束力が試される、今後にご期待ください。

楽しかったオリエンテーション

井手 恵助

入学式の次の日から一泊二日でオリエンテーションがありました。そのほとんどが米子高専についての説明でしたが、先生方の話を聞いて、これからの高専生活への期待が膨らみました。クラスでのミーティングでは、一人一人自己紹介をして、クラスのみんなのことを知りました。クラスの一人一人に個性があり、すごく楽しいクラスになりそうだなと思いました。空いた時間には、同じ科の人や他の科の人と、いろいろな話をしました。新しい環境になり、自分と気が合う友達ができるか心配でしたが、たくさん友達できて、よかったです。このオリエンテーションを通じて、米子高専に入って本当によかったと思いました。



一般科目
平澤 信一
准教授

■担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

とにかく元気です。みんな楽しそうなので、うらやましいです。大山寺からの帰り道、声をそろえて歌を歌っていたので、驚きました。

どんなクラスになってもらいたいですか。

いまのままの明るく楽しいクラスであり続けてほしいです。自分の仕事に責任をもつ態度も育ててほしいです。

最後にクラスの学生にメッセージを。

一年間は、まだまだ長いですが、最後までよろしく！



1 年 建 築 学 科

クラスデータ

学生数 44名 (男31、女13)

最近の建築学科として女子が少な目です。

寮生数 13名 (鳥取中部7、鳥取東部4、岡山1、兵庫1)



夢に近づく

田 邊 健 吾

とっても校舎が綺麗!! 体験入学等で見ていたものの、入学して改めてそのスゴさを実感しました。入学してからも二ヶ月が過ぎクラス内でも仲良くなり、まとまりも出てきて、良いクラスができつつあるかも!? 授業の進行スピードがとても速く部活動も遅い時間までするので、授業についていくのに大変です。しかし、1日1日がとても充実していて、素晴らしい日々を送れています。また、僕の夢である建築士に近づいていると思うと、とてもわくわくします。これから、色々大変なことがあるでしょうが、自分の夢のためにがんばっていきたいと思います。

これからが楽しみ

藪 内 さやか

私が高専に入学して、まず最初にしたのは中学校との違いでした。それは、勉強の面もありますが精神での面が大きかったと思います。中学校では先生が助言してくれて、それにしたがうことが主でしたが、高専生になってからは先生の助言が無く、自分で決めて行動しなければなりません。入学当初は何をどうすればいいのか一切わからず、クラスにもぎこちない雰囲気が流れていました。しかしこの一ヶ月半でだいぶ慣れてきました。ですが、まだまだ新しい発見が多く、しかし、だからこそよけいにこれからが楽しみに思います。



建築学科
山田 祐司
教 授

■担任インタビュー

このクラスの特徴を教えてください。

入学式直後のオリエンテーションではいろいろな行事を通じて交流が深まったように見えたのですが、5月の段階では男女別、クラブ別、寮生と通学生といったグループ内では交流ができてそれ以外との交流が薄いようです。

どんなクラスになってもらいたいですか。

いろいろなことに自発的に参加できるようになってほしいです。

最後にクラスの学生にメッセージを。

みんなの教室です。きれいに使いましょう。自分が過ごす環境を快適に保てないようでは他人の家を建てることなどできません。



陸 上 部

クラブ紹介

顧問 一般科目 南 雅樹

陸上競技部は現在、4年生の森君（4E）を主将に、男子18名、女子5名（内マネージャー3名を含む）の合計23名で頑張っています。また、熊谷先生（建築）、庄倉先生（電気情報）、南（一般科目）の顧問3人体制で学生の指導にあたっています。陸上競技部は、全国高専大会で優勝（4×100mR）を果たした平成6～7年が黄金期でしたが、ここ1、2年は短距離パート（100m、200m、400mなど）を中心に県内や中国ブロックの各種大会で上位入賞を果たすようになってきており、第2次黄金期の到来は近いと感じています。

主な実績として、遠藤君（3D：2007国際グランプリシリーズ織田記念陸上100m出場、県高校総体2冠：100m、200m）、森君（2007鳥取県選手権400m3位）、浦富さん（2A：2007県高校総体7種競技1位）などですが、部員各々が自己記録を塗り替えて、「次は自分が表彰台に！」の意気で日々の練習に汗を流しています。部員は『陸上競技部員である前に学生としての責任・本分を果たすこと！』『努力しない者には偶然は生まれない』をモットーに、陸上競技初のインターハイ出場と中国高専大会の総合優勝を目指しています。ご声援のほどよろしくをお願いします。



天文学会で研究発表しました

科学部 4D 中江 祥平

日本天文学会2007年春季年会が3月28日から神奈川県平塚市にある東海大学で開催されました。我々科学部は、高校生以下の発表の場であるジュニアセッションで「水星の日面通過を利用した黒点の温度測定」というタイトルで研究発表を行いました。

水星の日面通過とは昨年11月9日に起こった水星が太陽と重なる大変珍しい現象で、私達はそれを利用して太陽黒点の正確な温度を求めてみることにしました。図はそのとき撮像した画像の例です。太陽光球と黒点の明るさの比をとると、光球が5780Kであることから黒点の温度が求まります。しかし、地球上では散乱光の混入により黒点の温度が実際より高めに求まります。そこで水星を利用し黒点内の散乱光を補正して正確に黒点温度を求めました。その結果、黒点温度が4020±60Kであることがわかりました。

学会ではパワーポイントとポスターそれぞれで発表を行い、今回貴重な体験をすることが出来ました。



スターリングエンジンクラブ

クラブ紹介

部長 4M 富永 春香

スターリングエンジンクラブは、米子高専唯一の“技術系”部です。今年度は、7名（男4名、女3名）の新入部員が加わり、部員数18名（機械工学科13名、電気情報工学科3名、電子制御工学科2名）



新入部員教育の様子

になりました。“同好会”から“部”に昇格して早2年、いままでにない豊作ぶりで、最も部員の多い年になりました。機械工学科だけでなく、電気情報工学科や電子制御工学科の学生にも興味を持ってもらえたのはとても嬉しい事です。



部室にて

昨年全国大会で入賞の勢いでマシンを造り、参加全部門入賞を目指すべく、毎年恒例の新入部員教育（加工機械操作講習）を始めました。

鳥取県春季高校卓球選手権大会 男子団体&男子ダブルス優勝

卓球部顧問 電子制御工学科 河野 清尊

第54回を迎える標記大会において、青谷高校の7連覇を阻んで男子団体が優勝することができました。また、男子ダブルスにおいても3M河野美雅・3D大畑諒輔組が鳥取県選手権（一般の部）チャンピンの鳥取敬愛高校のペアを破って優勝することができました。どちらも初めての決勝進出でつかんだ栄冠でした。

優勝したことももちろん嬉しかったのですが、それ以上に、自分たちのやってきたことが間違いではなかった、ということが証明されたようで、そのことの方が何倍も嬉しかったです。平成7年度から高体連の大会に参加できるようになって13年目。青谷高校のように強い選手を集めることができるわけでもなく、私立高校のように特待生で県内外から選手を集められるわけでもない公立の学校でも、この米子高専でも、やり方によっては勝てるんだということが示せたように思います。

勝因は……？いまだにはっきりとは分かりませんが、個々人の技術が圧倒的に他校に勝っているわけでもない状況を見ると、やはりチームの力、チームワークの勝利であったと思われます。それと、負けても負けても自分たちのやり方を続けてきたこと。「継続は力なり、辛抱の木に金になる」「勝つ秘訣は勝つまで続けること」の言葉どおりです。

日頃から選手の強化にお力添えをいただいている地域の指導者のみなさん、西部地区高校の顧問の先生方に心より感謝します。6月2～4日の県高校総体、7月7・8日の中国地区高専体育大会においても良い結果を報告できるよう練習に励みたいと思います。



対松江高専定期戦

松江高専との第42回定期戦が5月19日に米子・松江の両会場にて行われました。同日、文化系クラブ等交流会も行われました。

総合成績

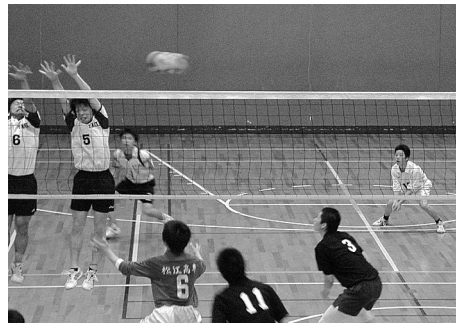
米子高専

5勝8敗1引き分け



文化系クラブ交流会(文芸部)

	米子高専	松江高専
バレーボール男子	0	2
バレーボール女子	0	2
柔道	1	4
剣道	2	3
硬式野球	12	12
テニス	3	0
バスケット男子	69	99
ソフトテニス男子	2	1
ソフトテニス女子	0	3
サッカー	0	4
卓球	3	0
水泳	85	167
ハンドボール	36	10
ラグビー	17	12



バレーボール男子



サッカー部

学生会便り

平成19年度学生会

学生会副会長 5A 藤原 佑樹

今年の学生会役員は39人という、前年度までとくらべても非常に多い人数でスタートする事となりました。会長、副会長を含めほとんどの役員が初就任で分からない事だらけで非常にバタついていましたが最近ではやっとうまく機能し始めたかなといった感じです。

学生のみなさんが一番よく分かると思いますが、今年の役員達は謎のメンバーです。普段からいろんな意味で目立つ人ばかりで会長も含め非常に学生会らしくない人多すぎます!!(笑)ですがこのメンバーなら学校をもっともっと楽しく明るくできると僕等は考えています!しかも意外とみんなまじめで優しい子達なんです。

これから高専祭やスポレク大会など大きなイベントがあるわけですが、このメンバーで今までにないくらいいい物を作り上げて行きたいと考えています!学生のみなさんもどんどん意見や要望などぶつけてきてください!君が40人目の役員だ。みんなで最高の学校を作ろうぜ!!!!



今年度の学生会役員一同

演劇鑑賞会を終えて…

学生会長 5D 吉田 亮介

先日公会堂で行われた演劇鑑賞会について、正直「別にそんな事やなくていいんじゃない?」と思っていましたが…おもしろい!高専生位の年代の人は普段プロの演劇を見る機会はほとんど無いのでとても新鮮で、終わってみると最初は興味がなかった人達もみんなとても楽しめたんじゃないかなと思います。

内容もお笑い芸人が戦時中にタイムスリップしてしまうという非常におもしろいテーマで、またプロの演技にとっても引き込まれました。戦争について僕らの世代は小学生の頃から授業などでよく理解しているつもりでしたが、この演劇を通して命の尊さ、戦争のもっと深い部分を知る事ができました。

本当に演劇鑑賞会をやってよかったなと思いました!また来年もこの様な機会があればいいなと思います。



地域共同テクノセンターの紹介

地域共同テクノセンター長 機械工学科 足立 新治



米子高専地域共同テクノセンターは、高専と地域社会の接点として、民間企業等と高専との研究協力（共同研究、受託研究、研究員の受け入れ等）、技術相談等により地域産業界の技術開発及び技術力向上を推進し地域の産業基盤の向上に貢献すると同時に、「地域に開かれた高専」として、広く地域社会の発展、活性化に寄与することを目的としています。

この目的のため、産官学連携、地域連携を図る中で次の活動を行っています。

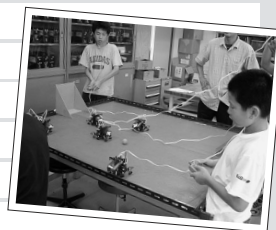
- ①共同研究及び受託研究等の研究開発推進
- ②技術交流及び技術相談の推進
- ③公開講座等地域における人材育成の推進
- ④その他地域との連携及び交流等の推進



副センター長：千葉 (E)
センター長補：田中 (G)、兼子 (A)

平成19年度の地域貢献活動予定

	月	日	曜日	場 所	テ ー マ な ど
出 前 講 座	7	27	金	中 浜 公 民 館	こども科学体験教室
	7	29	日	宇 田 川 分 館	ロボットを作ろう！！
	8	2	木	中 浜 公 民 館	世の中で活躍しているロボットたち
	8	17	金	県 公 民 館	こども科学体験教室
	11	8	木	彦 名 公 民 館	パソコンで作る年賀状
	11	29	木	大 篠 津 公 民 館	パソコンで作る年賀状
公 開 講 座	5	26	土	米 子 市 公 会 堂	第1回文化セミナー「鳥取県におけるバス交通の現状と課題」
	6	23	土	米 子 市 公 会 堂	第2回文化セミナー「いきいき健康づくり～見直そう生活習慣、予防しよう生活習慣病～」
	6	24	日	本 校	建築技術者のための建築構造再計算入門講座（2級建築士学科（構造）試験対策講座）
	7	22	日	本 校	親子ふれあい科学教室
	7	24	火	県立県民文化会館	中学生のためのやさしい電子制御回路教室
	7	25	水	県立倉吉未来中心	中学生のためのやさしい電子制御回路教室
	8	2	木	本 校	初心者のためのパソコン教室
	8	4	土	本 校	リサイクル工作でインテリア雑貨を作ろう
	8	6	月	本 校	初心者のためのパソコン教室
	8	9	木	本 校	初心者のためのパソコン教室
	8	11	土	本 校	レゴ®でレスキューロボットを作ろう
	8	12	日	本 校	レゴ®でレスキューロボットを作ろう
	8	16	木	本 校	初心者のためのパソコン教室
	8	20	月	本 校	初心者のためのパソコン教室
	8	22	水	本 校	金属のふしぎ体験（金属でキーホルダーを作ろう）
	8	23	木	本 校	初心者のためのパソコン教室
	8	24	金	本 校	中学生のためのプログラミング入門「米子高専Robocode Cup開催！」
	8	25	土	本 校	中学生のためのプログラミング入門「米子高専Robocode Cup開催！」
	8	27	月	本 校	初心者のためのパソコン教室
	9	8	土	本 校	木のあかりづくり体験
	10	27	土	米 子 市 公 会 堂	第3回文化セミナー「私たちの暮らしと酵素」
	11	24	土	米 子 市 公 会 堂	第4回文化セミナー「おもしろ静電気のはなし」

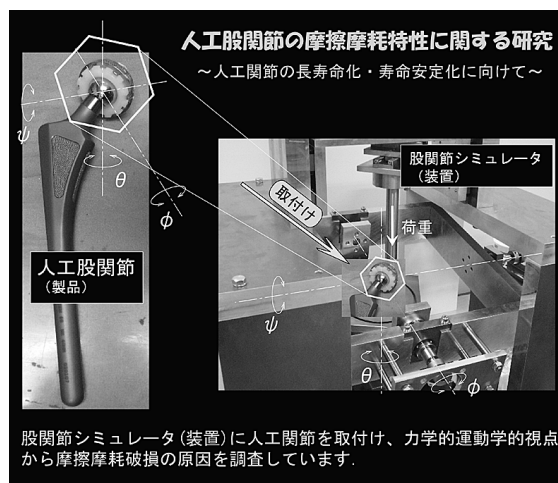


※上記講座の詳細や、上記以外の新規講座等の情報については、本校ホームページにてご確認ください。

研究紹介

機械工学科 大塚宏一研究室

当研究室では人工関節の長寿命化および寿命の安定化に向けて、力学的運動学的視点から人工関節摺動部の摩耗と破損の原因を調査しています。人工関節とは病気などで使えなくなった（生体）関節を人工のものに置き換えるためのもので、重症の関節機能障害に悩む患者の疼痛を寛解し、よりよい生活の質の獲得に大きな役割を果たしています。しかし、人工関節を入れた患者は生涯にわたり数回の再置換手術（交換）を余儀なくされる場合があり、患者への大きな負担となっています。現行の人工関節の使用年数を制限している主な原因は、摺動部の摩耗と破損です。そこで、その問題解決に向けた研究を行っています。



研究紹介

電気情報工学科 権田英功研究室

当研究室では、現在、自己組織化マップの応用に関する研究を行っています。自己組織化マップとは、多次元の大量の情報を2次元に整理分類する視覚化情報処理を行ったマップのことです。研究室では、様々な応用テーマを扱っていますが、主なものとして、近年、生活習慣病患者が急増していますがそれを予防するために、加速度脈波への応用を行っています。加速度脈波は、指先から



容易に得ることができ、動脈硬化や血管年齢の評価に主として使用されています。この脈波を自己組織化マップで分類しハードウェア化することにより、持ち運び可能な健康状態チェッカーの開発を目標に研究を行っています。

研究室の様子ですが、研究室のスタッフは、専攻科2年生2名、本科5年生4名の合計6名が在籍しており、「とりあえずやってみよう」をモットーに、昼夜研究に励んで（？）おります。ときには、スタッフ同士親睦を深めるためBBQや打ち上げ等も積極的にやる楽しい研究室です。



専攻科生の学会表彰

副専攻科長 機械工学科 松本 至

平成18年度 電気・情報関連学会中国支部第57回連合大会において、本校専攻科2年（当時）の松坂建治君と村上拓君は、研究内容とプレゼンテーション能力が高く評価され、電気学会中国支部奨励賞を受賞しました。また、村上君は情報処理学会中国支部奨励賞もあわせて受賞しました。大学の研究者や大学院生・大学生にもひけをとらない彼らの健闘が光ります。



平成18年度電気学会中国支部奨励賞受賞

生産システム工学専攻 平成18年度修了
松坂 建治（指導教員：西尾）「生態の視覚系に学んだ
速度検出回路を用いた
物体追跡システムの構築」

平成18年度電気学会中国支部奨励賞受賞

平成18年度情報処理学会中国支部奨励賞受賞
生産システム工学専攻 平成18年度修了
村上 拓（指導教員：加納）「ALS患者のためのERPを用いた
意思伝達に関する臨床実験」

大阪で関西企業とビジネス交流会開催

3月9日、地域共同テクノセンターは鳥取県大阪事務所と共催で、「平成18年度ビジネス交流会」を、大阪市で実施しました。この交流会は、米子高専の先進的な研究を関西地区の企業へ紹介し、関西企業との産学連携を推進しようとするものであり、電気・電子関連の企業など27社から約40名の参加がありました。

交流会では、水島校長による米子高専の特色についての紹介があった後、米子高専における研究成果の紹介が2件行われました。また発表後に行われた情報交換会では、企業から米子高専への研究支援の希望や、求人に関する相談などが多く寄せられ、実りある交流会となりました。

(企画協力係)



高専の特色を説明する水島校長

水鳥公園に木製ベンチを展示

建築学科の学生が制作した木製ベンチの展示を米子水鳥公園にて4月21日～5月28日の日程で行いました。

ベンチは、林業家、鳥取県木造住宅推進協議会、県西部総合事務所農林局林業振興課との産官学連携により建築学科3年生を対象に平成17年度から取り組んでいる「環境共生型ものづくりデザイン教育」の成果物です。この取組は、大山町等の山林で間伐や枝打ちなどの林業体験実習を行う環境教育とスギ間伐材を使用したベンチの設計と製作をグループ作業で行うものづくり教育を融合させたものです。今回は13台のベンチを制作しました。



水鳥公園の方によると、ベンチはどれもユニークなアイディアに溢れており、訪れた方々に好評だったということです。

(建築学科 西川 賢治)

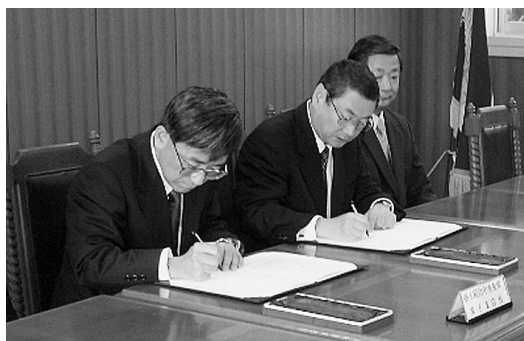
本校ホームページをリニューアル

6月に本校ホームページをリニューアルしました。新ホームページでは、各ページのスタイル統一と新規記事の効率的なアップを目指し、誰でもワープロ感覚で簡単にページ作成ができるコンテンツマネジメントシステム(CMS)を導入しました。CMSは記事承認機能を備えており、校内各部署が所属長の承認によって記事をアップすることができるようになっています。それぞれが工夫を凝らして新鮮な各種お知らせを記事にしています。ぜひご覧下さい。(広報委員会)



商工中金と連携協力協定を締結

4月12日、米子高専は商工中金米子支店と、地元中小企業との共同研究や技術支援などで協力する連携協力協定を締結しました。中小企業の設備投資への融資で実績のある商工中金と、地域産業との連携を推進する米子高専の思惑が一致し、このたびの協定締結となりました。協力内容は、米子高専の研究成果と中小企業の技術ニーズとのマッチング、商工中金米子支店の取引先への技術相談、支援技術ニーズの情報収集及び提供などです。商工中金と高等専門学校との連携協定は西日本では初めてであり、この度の協定締結を契機に緊密化を図り、地元企業製品の付加価値向上や地域産業発展に貢献する考えです。(企画協力係)



協定書にサインする継国支店長(左)と水島校長(中央)

■これまでに締結された連携協力協定

平成18年7月27日	(財)鳥取県産業振興機構
平成18年8月 9日	米子市
平成19年1月18日	(財)米子市教育文化事業団

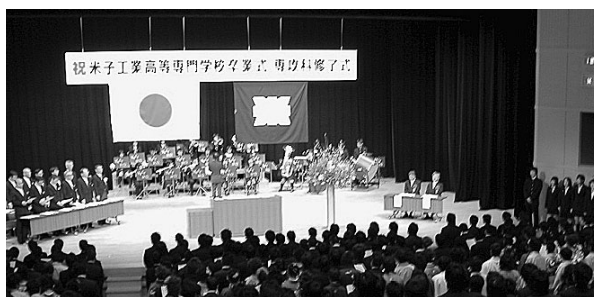
平成18年度卒業式・修了式

3月19日、10時30分から、米子市文化ホールにおいて挙行されました。卒業生、修了生は下記の通りです。

(総務係)



卒業生	機械工学科 34名	修了生	生産システム工学専攻 12名
	電気工学科 34名		物質工学専攻 7名
	電子制御工学科 37名		建築学専攻 5名
	物質工学科 37名		
	建築学科 35名		
	計177名		計24名



平成19年度 編入学生の紹介

■3年次編入学生（外国人留学生）

3M ムハンマド ラマダン ビン イスマイル

はじめまして、マレーシアからきた、ラマダンと申します。私はここに来てもう2ヶ月たちました。日本の習慣や生活などに少しずつ慣れるようになりました。米子高専へ行く前にいつも頭の中に米子はどうなところかと考えていました。米子に着いたとき、豊かな緑に囲まれていてとてもいい気持ちに感じました。米子は田舎というより町だと思います。米子高専は町の近くにあるのでとても便利だと思います。

マレーシアは日本と比べて、ぜんぜん違います。マレーシアの人々は3つの大きな民族に分けられます。マレー系、中国系とインド系ですが、幸せに生きられます。この事のおかげで、毎年色々な行事をお祝いすることができるし、おいしい食事たくさんあります。マレーシアにも有名なところがあります。例えば、“Petronas Twin Tower”（今の世界で2番目に高い建物）とキナバル山（東南アジアの1番高い山）。

日本について色々なことを知らないですから、ちゃんと教えてください。皆さん、よろしくお願いいたします。

3D ファム ヴォン チュン

はじめまして。私はヴォンです。ベトナムから参りました。米子高専へ来る前に東京で一年間日本語を勉強しましたが、なかなかうまくできません。今年から3Dの皆さんと一緒に勉強します。ですから、早いほど日本語ができるになりたいと思います。私の趣味はバドミントンをやることとアニメを見ることです。

ベトナムは一年間梅雨と雨の少ない季節しかないの日本と比べて全然違います。人口は約8600万人で54種類の民族がありますが、KINHの民族は87%の人口を占めます。

現在日本にいていっぱい良い思い出を作って毎日を笑顔で過ごしたいです。皆さん、よろしくお願いいたします。

■4年次編入学生

4M 金畑 均（鳥取県立米子工業高校より）

4M 木下 貴嗣（神戸市立科学技術高校より）

4E 橋口 昌平（熊本県文徳高校より）

4A 亀尾 旭（神戸市立科学技術高校より）

■ 平成19年度行事予定（前期） ■

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1 日	開 校	春 季 休 業	1 火	臨 時 休 業	1 金	↑ 高 校 総 体	2 土	↑ 前 期 中 間 試 験	1 日	保護者懇談会	1 水	夏 季 休 業	2 木	↑ 前 期 期 末 試 験	1 土		
2 月			2 水	臨 時 休 業	2 土		2 月			2 木	2 日						
3 火	始 業 式	3 木	憲法記念日	3 日	3 火				3 金	3 月	1～4特別日程+授業						
4 水	入 学 式	4 金	みどりの日	4 月	4 水		4 土		4 火								
5 木	↑ 新 入 生 オリエンテーション	5 土	こどもの日	5 火	5 木	金 曜 授 業	5 日		5 水								
6 金		6 日		6 水	6 金	臨 時 休 業	6 月		6 木								
7 土		7 月		7 木	↑ 高 専 大 会	7 土	7 火		7 金								
8 日		8 火		8 金		8 日	8 水		8 土								
9 月		9 水		9 土		9 月	9 木		9 日								
10 火		10 木		10 日	10 火	10 金	10 月										
11 水		11 金		11 月	11 水	11 土	11 火										
12 木		12 土		12 火	12 木	12 日	12 水										
13 金		13 日		13 水	13 金	1～4月曜授業+HR	13 月		13 木								
14 土		14 月		14 木	14 土		14 火		14 金								
15 日		15 火		15 金	15 日		15 水		15 土								
16 月		16 水		16 土	16 月	海 の 日	16 木		16 日								
17 火		17 木		17 日	17 火	↑ 補 講 夏 季 休 業	17 金		17 月	敬老の日							
18 水	開校記念日 演劇鑑賞会・学生総会	18 金		18 月	18 水		18 土		18 火								
19 木		19 土	対松江定期戦	19 火	19 木		19 日		19 水								
20 金		20 日		20 水	20 金		20 月		20 木								
21 土		21 月		21 木	21 土		21 火		21 金								
22 日		22 火		22 金	22 日		22 水		22 土								
23 月		23 水		23 土	23 月		23 木		23 日	秋分の日							
24 火		24 木		24 日	24 火		24 金		24 月	振替休日							
25 水		25 金		25 月	25 水		25 土		25 火								
26 木	健康の日	26 土		26 火	球 技 大 会		26 木		26 水								
27 金		27 日		27 水			27 金		27 木								
28 土		28 月		28 木			28 土		28 水								
29 日	昭和の日	29 火		29 金			29 日		28 火								
30 月	振替休日	30 水		30 土	保護者懇談会	30 月	29 水										
		31 木				31 火	30 木										
							31 金										

第10回中国・四国地区高専専攻科生研究交流会報告

専攻科長 電気情報工学科 松原 孝史

ゴールデンウィーク前の4月28、29日の両日、標記交流会が米子コンベンションセンターで開催されました。本交流会の趣旨は、専攻科生が研究成果発表を通して交流、親睦を深め、またプレゼンテーションのスキルアップを図るものです。昨年度の阿南市の交流会から中国・四国地区すべての高専14校が参加するようになり、公式事業となりました。

まず、本交流会の規模ですが、参加申し込み者数が322名、当日参加の学生、教職員も十数名あり盛会となりました。参加申し込み者数を表に示します。

参加した学生は、機械・電気・電子・情報・制御、土木・建築および物質・化学の5部門に別れて、28日に口頭発表160件、ポスター発表25件、翌29日に口頭発表75件の計260件（昨年度211件）の発表を行いました。発表会場では、各校の学生が座長を務め、活発な質疑応答で熱気を感じました。

また、初日の夕刻の懇親会は約300名の参加があり、和やかな雰囲気の中で大いに情報交換、親睦を深める交流ができたと思います。クライマックスの各高専PRプレゼンテーションは、歓喜、爆笑につつまれ大いに盛り上がりました。翌日も午前中いっぱい活発な研究発表が行われ、正午からの閉会式では名残惜しい雰囲気の中、来年度開催の高知市での再会を約束して2日間の交流会を閉じました。

最後になりましたが、学生が準備、運営するこの交流会は、昨年度の視察から1年間かけて準備をしてきた神園委員長をはじめとする本校専攻科生実行委員会によるところが大切です。厚く感謝いたします。また、座長を務めていただきました各校専攻科生の皆さん、縁の下で支えていただきました関係教職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

専攻科生研究交流会を振り返って

実行委員長 神園 理史（生産システム工学専攻）

平成19年度の中国四国地区専攻科生研究交流会は、米子高専が主催校となり4月28日（土）、29日（日）の2日間、米子コンベンションセンターで開催されました。本大会の特徴は、米子高専専攻科生を中心とする、米子高専の教職員のご指導の下、中国四国地区の他高専の専攻科生と交流をはかるとともに、各々の研究内容、成果を発表し、質疑応答による他の研究内容、幅広い専門分野の理解を深め、今後の研究に対する知識や、意欲向上をはかることを目的としたものでした。本年度の中国四国地区専攻科生研究交流会は、過去最高の320名の参加（14校）となり、大盛況に終わりました。

この大会に向け、私達、米子高専専攻科2年生全員で1年生の頃から、どのような研究交流会にしていくのか活発に意見交換をし、各自実行委員になり、担当役割を担っていただきました。専攻によっては時間が合わないことも、専攻が同じでも、特別研究が主な授業になっていますので、全員で集まって話し合いをすることが少なく、各自で担当役割の作業をお任せしておりました。また、開催される4月は就職試験と重なり、大変忙しい中、ご協力をいただいたと思います。1年生にとっては、入学し3週間という、専攻科の授業に慣れる間もない時期に、開催に当たっての準備や、運営進行の手伝いをして頂きました。

このように大盛況を収められたのも米子高専専攻科生が一丸となって準備運営をしていったからだと思います。ここで、ご協力いただいた専攻科生の皆様に深甚なる感謝の意を表します。また、講演申し込み・宿泊手配等の事務処理にご尽力いただいた米子高専職員各位、ならびに専攻科担当教員各位に厚く御礼申し上げます。

高 専 別 参 加 申 し 込 み 者 数

高 専	松 江	津 山	呉	広 島	徳 山	大 島	宇 部	高 松	詫 間	阿 南	高 知	新居浜	弓 削	米 子	合 計
学 生	24	24	1	11	17	9	26	4	20	8	29	26	18	55	272
教職員	1	2	2	3	6	2	5	2	3	3	8	2	1	10	50



編 集 後 記

今年度の彦名通信は、「学校の日常の様子を伝えること」を目指して、クラス便り、クラブ便り、研究紹介などの連載コーナーを設けました。また、校内の雰囲気を感じていただけるよう、写真も多く掲載していきたいと考えております。新しい紙面へのご意見・ご感想を、メール（hikona@yonago-k.ac.jp）にてぜひお寄せください。今年度の編集委員は、越智（G）、加藤（G）、田口（A）、山田（A）の4名です。

※記事中において、学科名をアルファベットで表している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…一般科目、S…専攻科
例えば、「1M」は1年機械工学科を表しています。

発 行：米子高専広報委員会

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL：0859-24-5023 FAX：0859-24-5029

E-mail：hikona@yonago-k.ac.jp ホームページ：http://www.yonago-k.ac.jp/hikona/ 印刷：（有）米子プリント社

R100
古紙配合率100%
再生紙を使用しています。